

INTERTECH

安全データシート (SDS)

会 社： インターテック株式会社
住 所： 〒123-0873 東京都足立区扇 2-23-1
電話 番 号： 03-5837-5550
FAX 番 号： 03-5837-5551
緊急連絡先： 同上

整理番号 20091101

改訂日： 2020年9月11日

製品名	エコアミド
グレード名	6GT15 黒を含む全着色品
物質の特定	単一製品・混合物の区別 : 混合物
化学名	: ポリアミド6
化学式又は構造式	: 1. (NH(CH ₂) ₅ CO) 2. アルミナほう珪酸無アルカリガラス 3. 無水マレイン酸変性ポリオレフィン共重合体

	1	2	3
化 学 名	ポリεカプラミド	ガラス繊維	無水マレイン酸変性 ポリオレフィン共重合体
含 有 量	75±2%	15±2%	10±2%
官 報 公 示 化 審 法 整 理 番 号 安 衛 法	(7)-357 (7)-357	該当しない 該当しない	(2)-1101
CAS No.	25038-54-4	65997-17-3	26221-73-8/26224-73-8/108-31-6

危険有害性の分類

分類の名称 : 分類基準に該当しない。

応急措置

目に入った場合：

溶解物の場合は、直ちに清浄な水で15分間以上冷やすと同時に洗浄し、コ

ンタクトレンズをしていれば外し、医師の診断を受けてください。
通常の場合は、直ちに清浄な水で洗浄し、異常があれば医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合：

溶融物の場合は、直ちに清浄な水で 15 分以上冷やす。皮膚上の固まった樹脂を無理に剥がさない。火傷があれば医師の診断を受けて下さい。

吸入した場合：

溶融物から発生するガスを吸って気分が悪くなった場合には、直ちに新鮮な空気の場所に移し、回復をしない時は医師の診断を受けて下さい。

飲み込んだ場合：

危険な物質ではないが、出来るだけ吐き出し、異常を感じるのであれば医師の診断を受けて下さい。

火災時の措置

消化方法： 水をかけて消化するのが有効である。

尚、火災時には、有害ガス（一酸化炭素及び微量な HCN, NH₃ 等）を発生する恐れがあるので、屋上から、又は、空気呼吸器を付けて消火作業をする。

消 化 剤： 水、泡沫消化剤（エアフォーム）、粉末消化剤

漏出時の措置

掃き取り、回収又は廃棄する。

ペレット、粉末は床上、地面に残ると滑る危険性が高いので、こまめに処理する。
排水系などに漏出した場合は、鳥類、魚類等への悪影響があるので全量回収する。

取り扱い及び保管上の注意

取 扱 い：

- (1) ペレット状の樹脂は、常温で引火、爆発の恐れはないが、作業場では、火気をみだりに使用しない。
- (2) 加工時は、有害なガス（一酸化炭素及び微量な HCN, NH₃ 等）を発生する恐れがあるので、ガスを吸収しない様にする。
- (3) 又、火傷の恐れがあるので、高温の樹脂には直接触れないようにする。
- (4) 樹脂が熱分解を起こすので、長時間高温状態で滞留させない。

保 管：

熱、発火源から離れた場所で保管する。

暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 設定されていない
許容濃度 : 日本産業衛生学会、ACGIH 共に、設定されていない。しかし、ポリεカブラミドの粉塵に対しては、次の値を採用するのが妥当と考える。

日本産業衛生学会勧告値（1998年版）第3種粉塵

時間荷重平均値

吸入性粉塵 2 mg/m³

総粉塵 8

ACGIH 勧告値（1998年版）一般粉塵

総粉塵 10 mg/m³

- 設備対策 : 粉塵を発生する場合や、高温で加工を行う時、樹脂の分解により有害なガスが発生する場合には、適切な局所廃棄設備の設置が必要である。
- 保護具 : 呼吸用保護具 : 防塵マスクを着用して下さい。
保護眼鏡 : 適切な局所排気を実施されている場合、通常の作業では、眼鏡型保護眼鏡を着用する。
成形機の清掃、ダクトの清掃等、蒸気・ガスを吸引する恐れのある作業時には、適切な局所排気を実施するとともに防毒マスク（有機ガス用）産業用ゴーグル型保護眼鏡を着用する。
- 保護手袋 : 熔融樹脂を取り扱う際は、革手袋を着用する。
保護衣 : 熔融した樹脂を取り扱う際には、火傷防止のため、長袖の衣服を着用して下さい。

物理/化学的性質

- 外観等 : ペレット状
沸点 : 225°C (DSC)
比重 : 1.24
溶解度 : 水に不溶

危険性情報（安定性・反応性）

- 発火点 : 400°C以上
可燃性 : あり 但し、酸素指数 26 以上、難燃性である。2)
発火性 : なし（自然発火性、水との反応性）： なし
酸化性 : なし

水との反応性： なし
自己反応性： なし
粉塵爆発性： なし
安定性・反応性： 常温・常圧で安定

有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む）

コメント: エコアミド 6GT15 としてのデータはないが、構成成分のデータを参考までに示す。

- 皮膚腐食性 : ナイロン樹脂には、皮膚腐食性・刺激性はない
- 刺激性 : ガラス繊維：繊維の粉末が眼、皮膚を刺激することがある。
- 亜急性毒性 : ナイロン樹脂に関して、30～40 匹の成長期の雌雄のラットに、10%の微粉末状のポリεカプロラクタムアミドを含ませた粥状飼料を 8 週間自由摂取させたが、中毒症状を示さなかった。3)
- 生殖毒性 : ナイロン樹脂に関して、30～40 匹の成長期の雌雄のラットに、10%の微粉末状のポリεカプロラクタムアミドを含ませた粥状飼料を 8 週間自由摂取させたが、繁殖機能は正常で対照動物との間に差はみとめられなかった。3)
- その他 : 「ガラス繊維、ロックウール及びそれらを含有する製品の取り扱い」については、労働省より指針が出されている。
しかし、ガラス繊維強化ナイロンの取り扱いについては、指針の対象となる作業に含まれていない。4)

環境影響情報

既知見なし。

- その他 : 海洋生物や鳥類が摂取することを防止するため、いかなる海洋や水域でも投棄、放出してはならない。

廃棄上の注意

埋め立てるときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従い公認の産業廃棄物処理業者若しくは、地方公共団体がその処理を行っている場合には、その団体に委託して処理をする。

焼却する時は、焼却設備を用いて、大気汚染防止法等の諸法令に適合した処理を施して焼却する。5)

輸送上の注意

コメント： 梱包袋がやぶれないように、水漏れや乱暴な取り扱いを避ける。もし破袋してペレットが飛散したときは、滑って転倒しない様に注意する。

国連分類 : 国連の定義上危険物に該当しない。

国連番号 : 国連の定義上危険物に該当しない。

適用法令

適用法令なし。

その他の情報

記載内容の取り扱い：

記載内容は、現時点で入手し得る資料、情報、データに基づいて作成しています。含有量、物理化学的性質、危険、有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、用法、用途に適した十分な安全・環境対策を講じた上でご使用下さい。

記載内容の問い合わせ先：

インターテック株式会社

〒123-0873 東京都足立区扇 2-23-1

電話番号： 03-5837-5550

FAX 番号： 03-5837-5551

引用文献等：

- 1) 「樹脂ペレット樹脂流出防止マニュアル」プラスチック工業連盟
- 2) 「プラ工連ニュース No.48」プラ工連 S54.11.1
- 3) G.Bornmann et.al.,Arzneim,Forshu.,9,9(1959)
- 4) 「ガラス繊維の労働衛生に関する指針マニュアル」ガラス繊維協会 (1995.5)
- 5) 「廃プラ Q&A 」工業用熱可塑性樹脂技術連絡会